

みずほハイブリッド証券ファンド2016－10(為替ヘッジあり)
(愛称:明日へのとびら)

直近の運用状況について

2016年10月14日

平素は、「みずほハイブリッド証券ファンド2016－10(為替ヘッジあり)(愛称:明日へのとびら)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドの直近の運用状況について、お知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

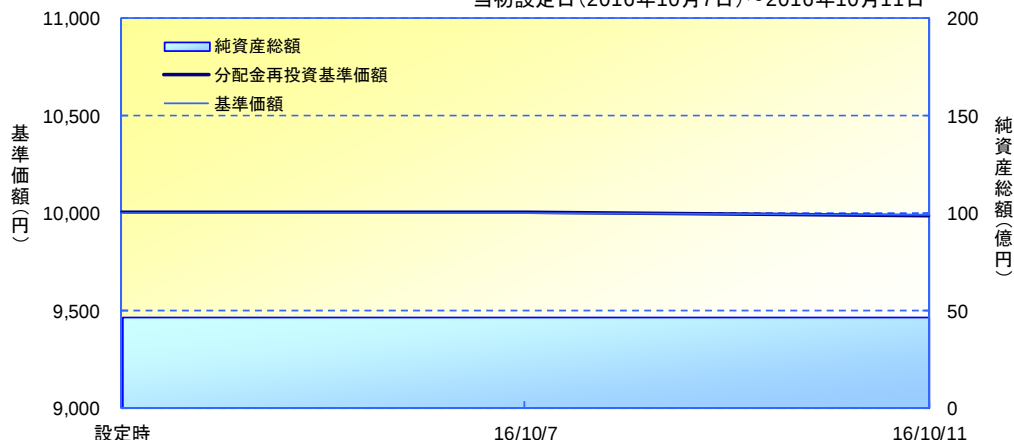
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年10月11日現在

当初設定日(2016年10月7日)～2016年10月11日

基準価額	9,986 円
純資産総額	46億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	----
3カ月間	----
6カ月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	-0.1 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国債券	19	77.9%
コール・ローン、その他※		22.1%
合計	19	100.0%

※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。

*当ファンドが投資対象とするハイブリッド証券(劣後債、優先証券)は、外国債券として表示しています。

通貨別構成		
通貨		比率
日本円		100.1%
米ドル		0.0%
英ポンド		-0.0%
ユーロ		-0.1%

※保有する外貨建て資産の比率から、為替予約取引の比率を差し引いた実質的な比率を表示しています。外貨建て資産の値動きによってはマイナスとなる場合があります。

格付別構成		
格付別		比率
AAA		---
AA		---
A		2.5%
BBB		77.2%
BB		20.3%
B以下		---

※格付別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成について、海外発行体はMoody's、S&P、Fitchで格付けの高いものを採用し、算出しています。

ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	5.2
最終利回り(%)*	3.2
修正デュレーション(年)*	2.8

*次回コール日を基に算出しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

《主要な資産の状況》

業種別構成		合計100.0%
業種	比率	
銀行	23.7%	
電力	23.0%	
通信サービス	15.4%	
不動産	8.8%	
その他公益	8.5%	
生活必需品	6.3%	
天然ガス	5.6%	
消費財	5.0%	
素材	3.7%	

※業種別構成は、パイオニア・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドが提供するデータを基に大和投資信託が作成
したものです。

※業種別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。

国・地域別構成		合計100.0%
国・地域	比率	
フランス	26.2%	
イギリス	23.1%	
オランダ	17.1%	
ドイツ	9.6%	
メキシコ	7.1%	
イタリア	5.8%	
スウェーデン	5.0%	
オーストラリア	3.8%	
イギリス領バージン諸島	2.5%	

※国・地域別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。

組入上位10銘柄					合計54.2%
銘柄名	通貨	利率(%)	次回コール日	比率	
NGG Finance PLC	ユーロ	4.25	2020/06/18	7.0%	
Vonovia Finance BV	ユーロ	4.625	2019/04/08	6.9%	
Electricite de France SA	ユーロ	4.25	2020/01/29	6.6%	
Royal Bank of Scotland Group PLC	ユーロ	3.625	2019/03/25	5.5%	
AMERICA MOVIL SA de CV	英ポンド	6.375	2020/09/06	5.5%	
Barclays Bank PLC	英ポンド	14	2019/06/15	5.5%	
Bayer AG	ユーロ	3	2020/07/01	4.9%	
Enel SpA	ユーロ	5	2020/01/15	4.5%	
BPCE SA	ユーロ	12.5	2019/09/30	3.9%	
Volvo Treasury AB	ユーロ	4.2	2020/06/10	3.9%	

※比率は、純資産総額に対するものです。

《参考》マザーファンドの通貨別構成

通貨	比率
ユーロ	57.5%
英ポンド	20.7%
日本円	19.7%
米ドル	2.0%

合計100.0%

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対するものです。

※以下のコメントは、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

＜最近の市況＞

足元、コーポレート・ハイブリッド証券市場はやや軟調に推移しております。

6月後半の英国の国民投票におけるEU(欧州連合)離脱派の勝利を受けて、市場心理の悪化からコーポレート・ハイブリッド証券市場は全般的にスプレッドのワイド化を余儀なくされましたが、7月以降はECB(欧州中央銀行)のCSPP(投資適格社債買付プログラム)による間接的な恩恵や、8月には英国のEU離脱に伴う景気減速への懸念に対応して、BOE(イングランド銀行)が発表した金融緩和策が市場予想を上回る内容だったこと、各国の中央銀行の金融緩和策を背景に国債金利がマイナス圏に落ち込む中、相対的に高い利回りの残るコーポレート・ハイブリッド証券への需要などを背景に堅調な相場が続いておりました。

しかし、9月に入ると、ECB理事会で金融政策は現状維持となり、期待された追加緩和が見送られたこと、米国で早期利上げ観測が高まったこと、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入したこと、10月にはECBが資産買い入れプログラムの縮小を計画しているとの観測報道などを背景に世界的に金利上昇しました。また、ドイツの大手銀行に対する信用不安の浮上が市場のリスクセンチメントの悪化につながりました。こうした動きを受けて、足元にかけてやや上値の重い相場展開となっております。

＜今後の見通しおよび運用方針＞

6月後半に実施された英国の国民投票の結果は世界に大きなショックをもたらしましたが、BOEが市場予想を上回る内容の金融緩和策を発表したように各国の中央銀行は状況を見極めながら、緩和的な金融政策のさらなる強化や政策金利の引き下げなど経済活動を支援するための長期的な施策を講じてくることが予想され、それらがリスク資産全般の下支えとなるものとみられます。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、ECBによる金融緩和効果などを背景に発行企業が利払いを繰り延べるリスクは依然として低く、現在のハイブリッド証券の信用スプレッドは魅力的な水準にあると考えています。また、ECBのCSPPによる間接的な恩恵や投資家が相対的に高い利回りを追求する動きも継続するとみられるほか、中期的にはコールの期日までがより長いハイブリッド証券への需要も高まってくるものと考えております。

金融セクターは、英国のEU離脱の影響が逆風となると考えられるものの、7月末にEBA(欧州銀行監督機構)から発表された銀行ストレステストの結果で一部の銀行を除き、おおむね健全な資本水準にあることが示されました。また、3月にECBが追加緩和策として発表した、貸出条件付き4年物長期リファイナンス・オペ(TLTRO II)の導入がEU域内の銀行の調達コストを引き下げ、中期的には金融システムの安定化に寄与するものと捉えています。

当ファンドでは引き続き、リスク対比で魅力的な利回りが期待される事業会社の発行するハイブリッド証券を中心に投資を行っていく方針です。

《ファンドマネージャーのコメント》 ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※以下のコメントは、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

＜組入上位銘柄の紹介＞

銘柄名	セクター	国	企業概況
NGG Finance PLC ナショナルグリッド	電力	英国	英国および米国北東部で送電網、ガス網を保有・運営する公益事業会社
Vonovia Finance BV ヴォノヴィア	不動産	オランダ	ドイツを中心に欧州で不動産関連サービスを展開
Electricite de France SA フランス電力	電力	フランス	フランスで発電、送電、配電、電力輸出入などを手がける
Royal Bank of Scotland Group PLC ロイヤルバンク オブ スコットランド・グループ	銀行	英国	銀行・金融サービスを提供する国際的企業。英国、欧州、中東、南北アメリカ、アジアで業務を展開
AMERICA MOVIL SA de CV アメリカン・モバイル	通信 サービス	メキシコ	ワイアレス通信会社。中南米諸国、カリブ諸島、米国など18か国で通信サービスを手掛ける
Barclays Bank PLC バークレーズ バンク	銀行	英国	英国の大手民間銀行。英四大銀行の一角を占め、グローバルに銀行・金融サービス事業を展開
Bayer AG バイエル	生活必 需品	ドイツ	ドイツの製薬会社。ヘルスケアおよび農業製品などを製造
Enel SpA エネル	電力	イタリア	発電、天然ガス供給事業を約30か国で展開するイタリアの大手エネルギー企業
BPCE SA ビー・ピー・シー・イー	銀行	フランス	フランスの大手銀行。個人および法人向け業務、保険、ローン、資産運用など展開
Volvo Treasury AB ボルボ	消費財	スウェーデン	自動車・産業用機器会社。トラック、バス、建設機械、工業用エンジンなどを製造

以上

みずほハイブリッド証券ファンド2016－10(為替ヘッジあり)(愛称:明日へのとびら)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資します。
 - ◆ハイブリッド証券とは、債券と株式*の性質を併せ持つ(ハイブリッド)証券であり、劣後債および優先証券があります。
 - *株式と連動して証券価格が変動するものではありません。
 - ◆一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクが高いことやハイブリッド証券固有のリスクなどにより、利回りが高いという特徴があります。
 - ※ハイブリッド証券固有のリスクには、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利払繰延リスクなどがあります。
 - ◆世界の企業には、金融機関(除く保険)を含みます。金融機関についてはG-SIFIsに指定されているものとします。
 - ◆証券の格付けは、取得時において投資適格*の格付けを有する銘柄を中心とします。
 - なお、利回り水準や流動性を加味した上で、投資適格未満の格付けを有する銘柄にも投資します。
 - *ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上
 - ◆信託期間内に満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。
 - ※組入銘柄の償還や買入消却に伴い再投資する際は、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。
 2. 運用は、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが行ないます。
 3. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
 - ※為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 - ※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
 4. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド《2020-09》」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「ハイブリッド証券固有のリスク(劣後リスク(法的弁済順位が劣後するリスク)・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク)」、「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

みずほハイブリッド証券ファンド2016－10(為替ヘッジあり)(愛称:明日へのとびら)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)2.16%(税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	0.3%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.3824% (税抜 1.28%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

みずほハイブリッド証券ファンド2016-10（為替ヘッジあり）（愛称：明日へのとびら） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○
みずほ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第34号	○	○	○	

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。